



振興会だより

富山県立にいかわ総合支援学校

No.23

ごあいさつ



にいかわ総合支援学校
教育振興会 会長

横山 栄

桜の花もいち早く過ぎていき、もうすぐに若葉が薫る北陸においては、一年で最も過ごしやすいい季節となつて参りました。皆様におかれましては、ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。四月九日に入学された新入生の皆さんも学校に少し慣れ、落ち着いて学校生活を過ごしておられることと思います。

さて、障害児教育のあるべき姿を考えると様々な条件整備や意識改革を進める必要があります。課題は山積みしておりますが、皆さんと共に力を合わせ前進していかなければならないと決意しております。私たちのこの教育振興会役員は、PTA会長、PTA副会長、校長、教頭、市長、町長、衆議院議員、県議会議員、市町教育長、黒部ロータリークラブ会長、黒部ライオンズクラブ会長、石田自治振興会長、その他この新川地区を代表する方々で、大きな支援をしていただけていると思っております。

このような強力な組織ではありますが、まずは皆さん一人一人の努力が大切だと思っております。「ノーマライゼーション」という言葉があります。簡単に言えば、『高齢者や障害者も含めた誰もが通常（ノーマル）な生活を送れるようにしよう』という考え方です。皆さんも臆することなく自分の考えを主張し、後に続く世代の人たちのためにも努力していかなければなりません。関係の皆様の英知と情熱で、児童生徒の負担を少しでも軽減できるよう真剣に取り組み、豊かで明るい社会を目指していこうではありませんか。

年度初めにあたり



校長 米田 肇

本年度、小学部八名、中学部十六名、高等部十四名、合わせて三十八名の新入生を迎え、全校児童生徒百四十二名のにいかわ総合支援学校は、元氣よく新年度のスタートをきることができました。

多くの児童生徒は新しい環境にも少しずつ慣れ、伸び伸びと学習活動に取り組んでいます。学習の様子を見えるため校内を歩くと、「おはようございます」「こんにちは」と元氣な声が聞けたり、手をつないだりすることもあり、とてもうれしい気持ちになります。

児童生徒は多くの学校行事や日々の学習活動等を通して大きく成長します。児童生徒が『明るく 仲よく 元氣よく』学校生活を送れるよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいりたいと思っております。

これからも、地域の皆様と連携しながら、地域に根ざし、開かれた学校づくりを進めていきたいと考えております。

教育振興会の皆様方には、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

誰もが楽しくなるPTA活動をめざして

PTA会長 吉田 健一



今年度、PTAの会長という大役を務めさせていただくことになりました。PTA活動という、どうしても「面倒くさい」「できれば関わりたくない」といったイメージがついて回るかもしれませんが、確かに行事ごとも多く、また、仕事をしながらの活動なので、簡単ではないことは確かです。ですが、最初からネガティブなイメージで取り組んでは、まずまず、子どもたちも、保護者の皆さんも、学校の先生たちも楽しく活動ができます。

私は、PTA活動について「こうしなければいけない」という考え方に少しづつ変化の種をまいて、時代にあつた、誰もが参加しやすく、そして楽しんでいけるものにしていきたいと思っております。保護者や先生たちが楽しむことによって、子どもたちの笑顔がふれるPTA活動にすることが目標です。そして何よりも、「チルドレンファースト」。障害のある子どもたちのために何ができるのか、みなさんと一緒に考えて、よりよい教育環境を整えるために、今できることを精一杯やっていきたいと思っております。

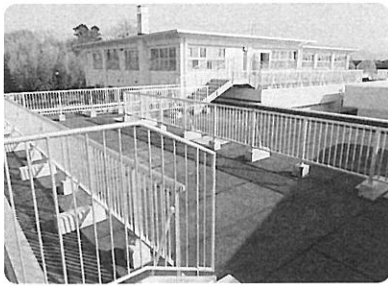
これまでPTAの活動に参加していなかった皆さんも、いろんな形で活動に携わっていただけると幸いです。

頼りない会長ではありますが、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

津波避難用屋外階段完成！

事務部長 金山 久晃

かねてより設置が待たれていた同階段が、この二月に完成しました。この階段は、横山会長を始めとする関係各位のご尽力により設置が実現し、工事費約千九百万円を要した鉄骨造の立派な施設です。この完成により、中庭から高等部棟二階へと至る新たな避難経路が確保され、津波被災時にも屋外から速やかに高所へ避難することができます。このことは、本校児童生徒のみならず、近隣住民の方々にも心強いものと思われれます。災害に対する備えに万全はありませんが、県教委が整備する備蓄用食料・飲料水等、本会で整備を進めているヘルメットや仮設簡易トイレ等と、本校の備えは年々確実に進んできました。今後は、児童生徒の避難訓練も一層の充実を図り、万が一に備えたいと思っています。また、折を見て地域住民の方々や保護者の皆様にも、この階段を用いた避難を体験していただきたと考えておりますので、その際はご協力のほどよろしくお願いいたします。



災害に備えて―防災用品の整備―

保健部主任 澤井ひとみ

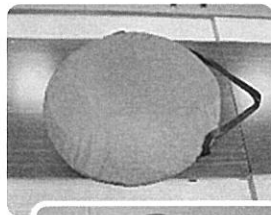
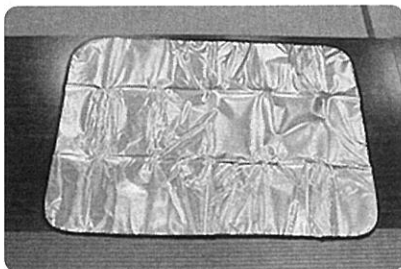
平成二十九年度、教育振興会より、次の物を防災用品として購入していただきました。

- ① 簡易トイレ他
(簡易トイレ六基、処理剤等八百回分)
- ② 簡易トイレ用テント 六張り
- ③ 防寒用アルミシート 百八十分
- ④ ワンタッチ式ベルト担架 二個

どれも災害時には無くてはならない物で、使用方法等を全職員で確認し、いざというときにスムーズに活用できるようにしていきたいと思っています。



ワンタッチ式ベルト担架

簡易トイレ用テントと
簡易トイレ

防寒用アルミシート

平成30年度 主な行事予定

4月27日(金)	学習参観・教育振興会総会・PTA総会
5月19日(土)	運動会
6月5日(火)・6日(水)	学校公開DAY
6月13日(水)～26日(火)	就業体験・校内実習
6月19日(火)～21日(木)	学校見学会(高・中・小)
6月26日(火)～27日(水)	共同宿泊学習(小学部5・6年)
7月10日(火)～11日(水)	共同宿泊学習(中学部1・2年)
7月12日(木)～13日(金)	共同宿泊学習(高等部1・2年)
8月24日(金)・9月21日(金)	学部体験学習(高)
9月7日(金)・14日(金)	学部体験学習(中・小)
9月13日(木)～14日(金)	修学旅行(中学部3年)
9月26日(水)～28日(金)	修学旅行(高等部3年)
10月13日(土)	学習発表会
10月23日(火)	修学旅行(小学部5・6年)
11月7日(水)～28日(水)	就業体験・校内実習
11月15日(木)・16日(金)	学校公開DAY
2月16日(土)	学習参観
3月	卒業証書授与式



本校では、学校課題を「小・中・高等部の一貫した支援を目指した授業づくり・授業改善」とし、二年計画で研究を推進しています。二十九年度の佐藤教授を招聘した授業研究会は、六月と十二月に行いました。授業では「やりとりの機会」「課題解決の機会」等を意図的に設定しています。集団の中の学びを促し、また「何が身に付いたか」という観点からも指導方法を検証し、実際の生活場面でも活用できる力を育むことができます。児童生徒の卒業後の社会参加・自立を見据えた実践を、小・中・高一貫して推進するに当たり、今後とも保護者の皆様及び関係機関の皆様のご協力をお願いいたします。

植草学園短期大学 佐藤慎二教授を招いて

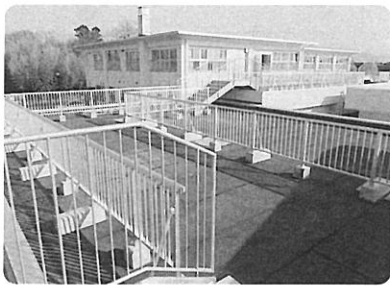
研修部主任 平澤亜希子

本校では、学校課題を「小・中・高等部の一貫した支援を目指した授業づくり・授業改善」とし、二年計画で研究を推進しています。二十九年度の佐藤教授を招聘した授業研究会は、六月と十二月に行いました。授業では「やりとりの機会」「課題解決の機会」等を意図的に設定しています。集団の中の学びを促し、また「何が身に付いたか」という観点からも指導方法を検証し、実際の生活場面でも活用できる力を育むことができます。児童生徒の卒業後の社会参加・自立を見据えた実践を、小・中・高一貫して推進するに当たり、今後とも保護者の皆様及び関係機関の皆様のご協力をお願いいたします。

津波避難用屋外階段完成！

事務部長 金山 久晃

かねてより設置が待たれていた同階段が、この二月に完成しました。この階段は、横山会長を始めとする関係各位のご尽力により設置が実現し、工事費約千九百万円を要した鉄骨造の立派な施設です。この完成により、中庭から高等部棟二階へと至る新たな避難経路が確保され、津波被災時にも屋外から速やかに高所へ避難することができます。このことは、本校児童生徒のみならず、近隣住民の方々にも心強いものと思われれます。災害に対する備えに万全はありませんが、県教委が整備する備蓄用食料・飲料水等、本会で整備を進めているヘルメットや仮設簡易トイレ等と、本校の備えは年々確実に進んできました。今後は、児童生徒の避難訓練も一層の充実を図り、万が一に備えたいと思っています。また、折を見て地域住民の方々や保護者の皆様にも、この階段を用いた避難を体験していただきたいと考えておりますので、その際はご協力のほどよろしくお願いいたします。



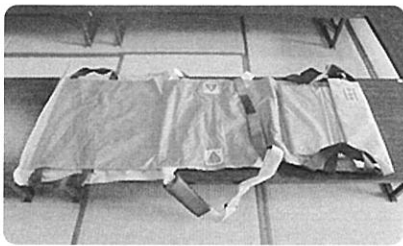
災害に備えて―防災用品の整備―

保健部主任 澤井ひとみ

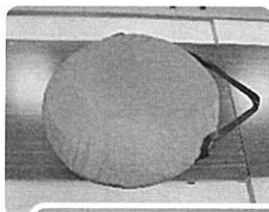
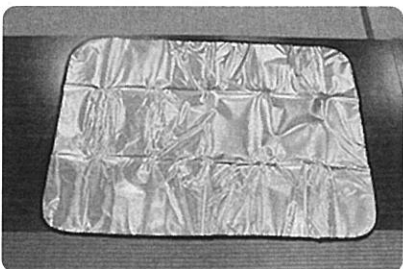
平成二十九年度、教育振興会より、次の物を防災用品として購入していただきました。

- ① 簡易トイレ他
(簡易トイレ六基、処理剤等八百回分)
- ② 簡易トイレ用テント 六張り
- ③ 防寒用アルミシート 百八十人分
- ④ ワンタッチ式ベルト担架 二個

どれも災害時には無くてはならない物で、使用方法等を全職員で確認し、いざというときにスムーズに活用できるようにしていきたいと思えます。



ワンタッチ式ベルト担架

簡易トイレ用テントと
簡易トイレ

防寒用アルミシート

平成30年度 主な行事予定

4月27日(金)	学習参観・教育振興会総会・PTA総会
5月19日(土)	運動会
6月5日(火)・6日(水)	学校公開DAY
6月13日(水)~26日(火)	就業体験・校内実習
6月19日(火)~21日(木)	学校見学会(高・中・小)
6月26日(火)~27日(水)	共同宿泊学習(小学部5・6年)
7月10日(火)~11日(水)	共同宿泊学習(中学部1・2年)
7月12日(木)~13日(金)	共同宿泊学習(高等部1・2年)
8月24日(金)・9月21日(金)	学部体験学習(高)
9月7日(金)・14日(金)	学部体験学習(中・小)
9月13日(木)~14日(金)	修学旅行(中学部3年)
9月26日(水)~28日(金)	修学旅行(高等部3年)
10月13日(土)	学習発表会
10月23日(火)	修学旅行(小学部5・6年)
11月7日(水)~28日(水)	就業体験・校内実習
11月15日(木)・16日(金)	学校公開DAY
2月16日(土)	学習参観
3月	卒業証書授与式



本校では、学校課題を「小・中・高等部の一貫した支援を目指した授業づくり・授業改善」とし、二年計画で研究を推進しています。二十九年度の佐藤教授を招聘した授業研究会は、六月と十二月に行いました。授業では「やりとりの機会」「課題解決の機会」等を意図的に設定しています。集団の中の学びを促し、また「何が身に付いたか」という観点からも指導方法を検証し、実際の生活場面でより活用できる力を育むことができます。児童生徒の卒業後の社会参加・自立を見据えた実践を、小・中・高一貫して推進するに当たり、今後とも保護者の皆様及び関係機関の皆様のご協力をお願いいたします。

植草学園短期大学 佐藤慎二教授を招いて

研修部主任 平澤亜希子



振興会だより

富山県立にいかわ総合支援学校

No.23

ごあいさつ



にいかわ総合支援学校
教育振興会 会長

横山 栄

桜の花もいち早く過ぎていき、もうすぐに若葉が薫る北陸においては、一年で最も過ごしやすい良い季節となつて参りました。皆様におかれましては、ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。四月九日に入学された新入生の皆さんも学校に少し慣れ、落ち着いて学校生活を過ごしておられることと思います。

さて、障害児教育のあるべき姿を考えると様々な条件整備や意識改革を進める必要があります。課題は山積みしておりますが、皆さんと共に力を合わせ前進していかなければならないと決意しております。私たちのこの教育振興会役員は、PTA会長、PTA副会長、校長、教頭、市長、町長、衆議院議員、県議会議員、市町教育長、黒部ロータリークラブ会長、黒部ライオンズクラブ会長、石田自治振興会長、その他この新川地区を代表する方々で、大きな支援をしていただけていると思っております。

このような強力な組織ではありますが、まずは皆さん一人一人の努力が大切だと思っております。「ノーマライゼーション」という言葉があります。簡単に言えば、『高齢者や障害者も含めた誰もが通常（ノーマル）な生活を送れるようにしよう』という考え方です。皆さんも臆することなく自分の考えを主張し、後に続く世代の人たちのためにも努力していかなければなりません。関係の皆様の英知と情熱で、児童生徒の負担を少しでも軽減できるよう真剣に取り組む、豊かで明るい社会を目指していこうではありませんか。

年度初めにあたり



校長 米田 肇

本年度、小学部八名、中学部十六名、高等部十四名、合わせて三十八名の新入生を迎え、全校児童生徒百四十二名のにいかわ総合支援学校は、元氣よく新年度のスタートをきることができました。

多くの児童生徒は新しい環境にも少しずつ慣れ、伸び伸びと学習活動に取り組んでいます。学習の様子を見るため校内を歩くと、「おはようございます」「こんにちは」と元氣な声が聞けたり、手をつないだりすることもあり、とてもうれしい気持ちになります。

児童生徒は多くの学校行事や日々の学習活動等を通して大きく成長します。児童生徒が『明るく 仲よく 元氣よく』学校生活を送れるよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいりたいと思えます。

これからも、地域の皆様と連携しながら、地域に根ざし、開かれた学校づくりを進めていきたいと考えております。

教育振興会の皆様方には、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

誰もが楽しくなるPTA活動をめざして



PTA会長 吉田 健一

今年度、PTAの会長という大役を務めさせていただくことになりました。PTA活動というと、どうしても「面倒くさい」「できれば関わりたくない」といったイメージがついて回るかもしれません。

確かに行事ごとも多く、また、仕事をしながらの活動なので、簡単ではないことは確かです。ですが、最初からネガティブなイメージで取り組んでいては、まずまず、子どもたちも、保護者の皆さんも、学校の先生たちも楽しく活動ができません。

私は、PTA活動について「こうしなければいけない」という考え方に少しづつ変化の種をまいて、時代にあつた、誰もが参加しやすく、そして楽しんでいけるものにしていきたいと思つています。保護者や先生たちが楽しむことによって、子どもたちの笑顔がふれるPTA活動にすることが目標です。そして何よりも、「チルドレンファースト」。障害のある子どもたちのために何ができるのか、みなさんと一緒に考えて、よりよい教育環境を整えるために、今できることを精一杯やっていきたいと思えます。

これまでPTAの活動に参加していなかった皆さんも、いろんな形で活動に携わっていただけると幸いです。

頼りない会長ではありますが、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。